

美容所における

令和2年5月28日作成
(令和5年3月10日更新)
鳥取県くらしの安心推進課

事業継続のための 新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

問合わせ先 新型コロナウイルス克服くらしの安心 相談・応援窓口	東部 県庁くらしの安心推進課 中部 中部総合事務所環境建築局 西部 西部総合事務所米子保健所	☎0857-26-7982 ☎0858-23-3982 ☎0859-31-9340
---------------------------------------	--	---

美容所の営業場面ごとの感染拡大予防対策

1 マスクの着用 令和5年3月13日から適用

・マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、営業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは可能です。

マスクの着用は場面に応じて適切に選択しましょう。

従業員のマスクの着用は、従業員の感染防止とお客様を守ることにもつながります。

マスクの着用を推奨する場面等、店舗の感染対策の内容を掲示しましょう。

＜従業員がマスクを着用する場面の例＞

- ・一定時間以上の会話や近い距離での接客

＜お客様にマスクの着用を推奨する場面の例＞

- ・換気が十分にできない場面
- ・混雑した場面
- ・大声を出す場面
- ・重症化リスクの高い方がいる場面 など

2 開店準備

- ・従業員に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるときは出勤しないよう呼びかけましょう。

▶従業員の体調不良を事前に把握することが重要です。

- ・感染した従業員や感染疑いのある従業員が出勤しないようにしましょう。

▶体調不良の方が申し出られるよう、休暇を取りやすい環境・体制を作りましょう。

- ・開店に備えてドアや窓を開けるなど店内の十分な換気をしましょう。

▶空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合や空気が通りにくい場所は換気扇、扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。

また、空気の流れを阻害しないパーティションの設置や、十分な外気取り入れとあわせ、奥まった部分にもサーキュレーターで空気を送ることも効果的です。

- ① 窓を開けても風が入りにくい場合の工夫
空気が入ってくる窓を小さく、空気を外へ出す窓を大きく開けて空気の流れを作りましょう。
- ② 窓がない場合の工夫
換気口も無い場合は、ドアを開けて扇風機などで部屋の外に空気を出す流れを作りましょう。また、換気口がある場合は、ドアを開けて扇風機などで部屋の中に空気を送り込む流れを作りましょう。

- ・座席同士の距離が近い場合は、席の間をパーティション等で遮蔽しましょう。

▶作業の支障となるためパーティション等を設置できない場合は、座席を1つおきに使用するなど人と人の距離（フィジカルディスタンス）を確保しましょう。

- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示をしましょう。

- ドアノブ、カウンター、テーブル、椅子の背もたれ、トイレの便座、流水レバー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- 従業員の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
 - ▶ 従業員を感染リスクから守ることも重要です。裏口等を活用しましょう。
- 従業員は来客用のトイレの使用を控えましょう。
 - ▶ 接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。
- 感染予防対策に万全を期していることや具体的な対策を従業員で共有しましょう。
- 洗髪やメイクのような感染リスクの高いサービスを提供するかどうか検討しましょう。
 - ▶ 感染リスクの高いサービスを提供しない場合は、その旨を掲示しましょう。
- 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店はステッカーを入口に掲示しましょう。
- 鳥取県新型コロナ対策認証店はステッカーを入口に掲示しましょう。

3 予約受付

- フィジカルディスタンスを確保できるよう施設規模に応じた予約制を取りましょう。
- お客様には、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるときは来店いただかないよう要請しましょう。
 - ▶ 感染予防のため感染リスクの高いサービスを提供しない場合は、あらかじめお客様にお伝えしましょう。

4 来店・席案内

- 来店時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の入店はお断りしましょう。
 - ▶ お客様の体温確認のため、非接触の体温計の導入も検討しましょう。
- 出入口に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請しましょう。
 - ▶ 施設内での手指の洗浄や消毒の励行も呼びかけましょう。
- 接客時には咳エチケットを実践するとともに、カット、パーマ、メイク等の美容行為時以外は可能な範囲でお客様とフィジカルディスタンスを保ちましょう。
 - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。お客様と従業員がともに咳エチケットを実践していればフィジカルディスタンスの確保は必須ではありません。
- 順番待ちのお客様同士が触れ合わない程度の間隔をあけて座っていただいたり、連絡先を聞いて呼び出し対応をしましょう。
- お客様に、大声での会話は控えていただくよう要請しましょう。
 - ▶ 施設内放送による呼びかけ等も有効です。

5 美容行為

- お客様ごとの美容行為の前後に手指を消毒しましょう。
- クロスやハサミ、クシ、ヘアクリップ等のお客様に触れる器具は、お客様ごとに消毒したものを使用し、使用済みのものは区別しましょう。
- シャンプー台からカット台への移動など、お客様が店内を移動するときに、お客様同士が接触しないようにしましょう。
- 座席のひじかけ等のお客様がよく触られる場所は、お客様ごとに清拭消毒しましょう。

6 会計

- 会計をするときは、お客様と従業員がともに咳エチケットを実践しましょう。

- 電子決済を活用しましょう。
- 金銭やカードの受け渡し後は手やレジを消毒しましょう。

7 営業終了後の片付け

- 翌日の営業に備えて、ドアや窓を開けるなど店内の十分な換気をしましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合や空気が通りにくい場所は換気扇、扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- 店内清掃を徹底し、タッチパネル、ドアノブ、カウンター、テーブル、椅子の背もたれ、トイレの便座、流水レバー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- 店内で着用する衣服はこまめに洗濯しましょう。
- ゴミ出しの後には必ず手を洗いましょう。

8 店舗の管理

- 換気設備を定期的に点検しましょう。
- 手洗い後は、ペーパータオルを活用しましょう。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょう。
- ゴミはごみ箱に入れて密閉しましょう。
- スタッフルームも換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底するとともに、一度に休憩する人数を減らし、対面での食事や会話をしないようにしましょう。休憩室を複数人が利用される場合は、ディスタンスの確保のほか、定期的な換気を心がけましょう。

9 出張美容

- 出張当日の朝に検温し、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある場合は出張を中止しましょう。
- 美容行為は、換気が良く、人が密集していない場所で行いましょう。
- 接客及び美容行為を行うときは、店舗での営業と同様に感染防止対策を実施しましょう。